

秋田県の日本一と全国ベスト3

(令和7年12月26日改訂版)



©2015秋田県んだッチ

秋田県企画振興部調査統計課

秋田県の日本一と全国ベスト3について

【作成の目的】

秋田県の日本一と全国ベスト3は、数値による全国ランキングを通して秋田県のすがたをお知らせすることで、県民の皆様に「統計」に興味を持っていただくことや、秋田県の良さを再認識していただく契機となることを目的として、平成20年から作成しているものです。

【資料の性格、位置付け】

秋田県の日本一と全国ベスト3は、各種統計から情報収集した全国上位3位以内にランキングされている指標のうち、秋田県に馴染みのある指標や秋田県のPRにつながる指標を選定して掲載しています。

秋田県の日本一と全国ベスト3(番外編)は、ランキング形式だけでなく、秋田県の1日あたりのデータや、秋田県が誇れる指標、日本三大〇〇といったような雑学的な情報も掲載しています。

【注意事項】

- ・ 数値が同じものでも、統計資料の公表の際に順位が公表されているものについては、その順位を記載しています。順位が公表されていないものについては、数値を比較の上、順位を付与しています。
- ・ 順位変動欄等の記号の意味は、次のとおりです。
「-」がついているものは、新規または順位が異なるもの
「新規」とされているものは、今回新たにベスト3に追加したもの
「更新」とされているものは、前回よりも新しい年次統計から数値等を引用したもの
矢印のみとされているものは、前回より新しい年次統計が公表されていないもの

(問合せ先)

〒010-8570

秋田県秋田市山王四丁目1番1号

秋田県企画振興部 調査統計課 調整・解析チーム

電話 018-860-1251

FAX 018-860-1252

e-mail : Toukeika@pref.akita.lg.jp

農業

順位	項目	年次	数値	前回数値 (順位) 【年次】	資料出所等	順位 変動
1	ダリア作付面積	R4	827a	1,159a (1) 【R3】	県園芸振興課資料 2位 山形 (764a) 3位 長野 (374a)	➡ 更新
1	くさそてつ(こごみ)の生産量	R6	23.6t	17.0t (1) 【R5】	農林水産省「特用林生産統計調査」 2位 山形 (11.6t) 3位 新潟 (5.1t)	➡ 更新
2	食料自給率 (カロリーベース)	R5	202%	196% (2) 【R4】	農林水産省「都道府県別食料自給率(概算値)」 1位 北海道 (213%) 3位 山形 (148%)	➡ 更新
2	りんどうの出荷量	R6	7,800千本	8,420千本 (2) 【R5】	農林水産省「作物統計調査」 1位 岩手 (40,800千本) 3位 山形 (7,440千本)	➡ 更新
2	ホップの生産量	R6	35t	35t (2) 【R5】	全国ホップ連合会「ホップに関する資料」 1位 岩手 (58t) 3位 山形 (23t)	➡ 更新
2	花みょうがの作付面積	R4	25ha	30ha (2) 【R2】	農林水産省「地域特産野菜生産状況調査」 1位 高知 (103ha) 3位 山形 (22ha)	➡
2	テッポウユリの出荷量	R4	1,341千本	1,521千本 (2) 【R3】	県園芸振興課資料 1位 鹿児島 (2,594千本) 3位 高知 (1,108千本)	➡ 更新
3	担い手への農地集積率	R6	71.6%	71.2% (2) 【R5】	農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」 1位 北海道 (92.5%) 2位 山形 (71.9%)	⬇ 更新
3	ダリアの出荷量	R4	631千本	-	県園芸振興課資料 1位 長野 (1,025千本) 2位 山形 (701千本)	新規
3	ラズベリーの出荷量	R4	1.2t	1.9t (1) 【R3】	農林水産省「特産果樹生産動態等調査」 1位 北海道 (1.8t) 2位 山形 (1.3t)	⬇ 更新
3	水稻の収穫量	R6	490,000t	458,200t (3) 【R5】	農林水産省「作物統計調査」 1位 新潟 (622,800t) 2位 北海道 (562,400t)	➡ 更新

(注1) 年次のHは平成、Rは令和をさします。

(注2) 年次は1月から12月または、4月から翌3月の期間をさします。

順位	項目	年次	数値	前回数値 (順位) 【年次】	資料出所等	順位 変動
3	大豆の作付面積	R6	9,260ha	9,530ha (3) 【R5】	農林水産省「作物統計調査」 1位 北海道 (46,800ha) 2位 宮城 (11,600ha)	➡ 更新
3	うわばみそう(みづ)の生産量	R6	8.1t	6.6t (3) 【R5】	農林水産省「特用林産物生産統計調査」 1位 青森 (30.6t) 2位 山形 (12.7t)	➡ 更新
3	うどーの出荷量	R4	104t	127t (3) 【R2】	農林水産省「地域特産野菜生産状況調査」 1位 栃木 (404t) 2位 群馬 (370t)	➡
3	せりの作付面積	R4	10ha	11ha (3) 【R2】	農林水産省「地域特産野菜生産状況調査」 1位 宮城 (24ha) 2位 茨城 (16ha)	➡

水産業

2	わかさぎの漁獲量	R5	120t	202t (2) 【R4】	農林水産省「内水面漁業生産統計調査」 1位 青森 (268t) 3位 北海道 (83t)	➡ 更新
2	はたはたの漁獲量	R5	111t	196t (3) 【R4】	農林水産省「海面漁業生産統計調査」 1位 北海道 (160t) 3位 鳥取 (104t)	⬆ 更新

林業

1	スギ人工林面積	R3	364,046ha	366,665ha (1) 【H28】	林野庁「森林資源の現況」 2位 宮崎 (224,368ha) 3位 岩手 (197,108ha)	➡
1	スギ人工林蓄積	R3	124,670千m ³	—	林野庁「森林資源の現況」 2位 宮崎 (119,138千m ³) 3位 福島 (103,872千m ³)	➡
2	スギの素材生産量	R6	1,014千m ³	865千m ³ (3) 【R5】	農林水産省「木材統計」 1位 宮崎 (1,729千m ³) 3位 大分 (835千m ³)	⬆ 更新
3	合板等用の素材生産量	R6	379千m ³	349千m ³ (3) 【R5】	農林水産省「木材統計」 1位 北海道 (511千m ³) 2位 岩手 (424千m ³)	➡ 更新

資源

順位	項目	年次	数値	前回数値 (順位) 【年次】	資料出所等	順位 変動
2	地熱発電導入量 (設備容量ベース)	R 6	135MW	135MW (2) 【R3】	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 1位 大分 (166MW) 3位 鹿児島 (67MW)	➡ 更新
3	風力発電導入量 (出力ベース)	R 6	801MW	801MW (2) 【R5】	一般社団法人日本風力発電協会 1位 北海道 (1,138MW) 2位 青森 (894MW)	⬇ 更新

経済

2	耕 地 面 積 (1個人経営体当たり)	R 6	3.3ha	3.2ha (2) 【R5】	農林水産省「農業構造動態調査」 1位 北海道 (26.5ha) 3位 青森・山形 (3.0ha)	➡ 更新
3	織物製事務用・作業用・衛生用衣服の出荷額	R 5	9,304百万円	9,773百万円 (3) 【R4】	経済産業省「経済構造実態調査」 1位 広島 (29,261百万円) 2位 岡山 (20,415百万円)	➡ 更新

暮らし

1	理容所・美容所の数 (人口10万人当たり)	R 5	561.4か所	557.0か所 (1) 【R4】	厚生労働省「衛生行政報告例」 総務省統計局「人口推計」 2位 山形 (513.0か所) 3位 岩手 (453.9か所)	➡ 更新
1	NHK放送受信料の世帯支払率	R 6	96.1%	96.8% (1) 【R5】	NHK「都道府県別推計世帯支払率」 2位 岩手・新潟 (93.2%) 3位 島根 (92.9%)	➡ 更新
1	一戸建率	R 5	79.4%	80.7% (1) 【R2】 ※国勢調査	総務省統計局「住宅・土地統計調査」 2位 山形 (76.1%) 3位 青森 (75.3%)	➡
1	持ち家率	R 5	77.1%	77.6% (1) 【R2】 ※国勢調査	総務省統計局「住宅・土地統計調査」 2位 山形 (75.0%) 3位 富山 (74.9%) * 持ち家率：住宅に住む一般世帯に占める「持ち家」の割合	➡

順位	項目	年次	数値	前回数値 (順位) [年次]	資料出所等	順位 変動
1	一人当たり居住室の畳数	R 5	18.43畳	17.73畳 (1) 【H30】	総務省統計局「住宅・土地統計調査」 2位 富山 (18.17畳) 3位 青森 (17.35畳)	➡
1	住 宅 所 有 率	R 5	73.8%	70.8% (1) 【H30】	総務省統計局「住宅・土地統計調査」 2位 新潟 (72.0%) 3位 山形 (71.8%)	➡
1	土 地 所 有 率	R 5	68.6%	70.3% (1) 【H30】	総務省統計局「住宅・土地統計調査」 2位 山形 (67.3%) 3位 新潟 (66.1%)	➡
2	睡眠時間の長さ (週全体 1日当たり)	R 3	486分	482分 (1) 【H28】	総務省統計局「社会生活基本調査」 1位 青森 (489分) 同2位 鹿児島 (486分)	➡
2	清酒の販売(消費)数量 (成人1人当たり)	R 5	7.1L	6.9L (2) 【R4】	国税庁「酒のしおり」 1位 新潟 (8.1L) 3位 山形 (6.2L)	➡ 更新

教育・文化・スポーツ

1	重要無形民俗文化財の件数	R 7	17件	17件 (1) 【R6】	文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」 2位 新潟・岐阜・愛知・鹿児島 (13件) 3位 静岡 (12件)	➡ 更新
1	公立小学校6年国語 (平均正答率)	R 7	71%	73% (1) 【R6】	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	➡ 更新
1	公立中学校3年国語 (平均正答率)	R 7	57%	60% (3) 【R6】	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	↑ 更新
1	社会体育施設数 (人口100万人当たり)	R 3	906.9施設	880.7施設 (3) 【H30】	総務省統計局「社会生活統計指標—都道府県の指標—」 2位 鳥取 (901.6施設) 3位 長野 (899.2施設)	➡
2	公立小学校6年理科 (平均正答率)	R 7	61%	—	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	新規



©2015秋田県んだチ



安全・安心

順位	項目	年次	数値	前回数値 (順位) 【年次】	資料出所等	順位 変動
1	運転席のシートベルト着用率 (高速道路等)	R 6	100%	100% (1) 【R5】	一般社団法人日本自動車連盟 「シートベルト着用状況全国調査」 1位 同率県あり	➡ 更新
1	助手席のシートベルト着用率 (高速道路等)	R 6	100%	100% (1) 【R5】	一般社団法人日本自動車連盟 「シートベルト着用状況全国調査」 1位 同率県あり	➡ 更新
1	消防吏員数 (人口 10 万人当たり)	R 4	222.0人	218.5人 (1) 【R3】	総務省統計局「社会生活統計指標 —都道府県の指標—」 2位 青森 (220.3人) 3位 島根 (182.4人) * 消防吏員：消防本部に勤務する 消防職員のうち、消火・救急・救 助・査察などの業務を行う者	➡
2	消防ポンプ自動車等現有数 (同上)	R 4	224.0台	225.1台 (2) 【R3】	総務省統計局「社会生活統計指標 —都道府県の指標—」 1位 山形 (241.2台) 3位 福島 (199.1台)	➡



健康・医療・福祉

1	医薬分業率	R 6	93.6%	92.4% (1) 【R5】	公益社団法人日本薬剤師会「処方箋受取率の推計」 2位 新潟 (92.4%) 3位 青森 (92.2%)	➡ 更新
1	献血率 (20 ~ 29 歳)	R 6	7.3%	7.5% (2) 【R5】	日本赤十字社「血液事業の現状」 2位 高知 (6.9%) 3位 岩手 (6.5%) 栃木 (6.5%) 鳥取 (6.5%)	⬆ 更新
2	献血率 (30 ~ 39 歳)	R 6	7.0%	7.1% (2) 【R5】	日本赤十字社「血液事業の現状」 1位 高知 (7.3%) 3位 北海道 (6.8%)	➡ 更新



©2015秋田県nandapp

順位	項目	年次	数値	前回数値 (順位) [年次]	資料出所等	順位 変動
1	男子身長※1	R6	171.5cm (16歳)	—	文部科学省「学校保健統計調査」	更新
1	男子体重※2	R6	65.4kg (17歳)	—	文部科学省「学校保健統計調査」	更新
1	女子身長※3	R6	158.1cm (15歳)	—	文部科学省「学校保健統計調査」	更新
1	女子体重※4	R6	52.6kg (15歳)	—	文部科学省「学校保健統計調査」	更新
1	短期入所生活介護 (ショートステイ)事業所数 (65歳以上人口10万人当たり)	R5	87.7か所	86.4か所 (1) 【R4】	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」 総務省統計局「人口推計」 2位 広島(63.0か所) 3位 山梨(52.6か所)	➡ 更新
2	介護老人福祉施設数 (65歳以上人口10万人当たり)	R5	34.7か所	34.5か所 (2) 【R4】	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」 総務省統計局「人口推計」 1位 島根(40.5か所) 3位 茨城(32.3か所)	➡ 更新

※1 男子身長については「7、8、9、11、12、13、14、15、16歳」が1位。数値欄には、代表値として16歳の数値を記載。

※2 男子体重については「8、9、12、14、15、16、17歳」が1位。数値欄には、代表値として17歳の数値を記載。

※3 女子身長については「6、7、8、10、13、14、15歳」が1位。数値欄には、代表値として15歳の数値を記載。

※4 女子体重については「6、7、9、10、15歳」が1位。数値欄には、代表値として15歳の数値を記載。

自然環境

1	湖の深度(田沢湖)	—	423.4m	—	国土地理院「湖沼調査」 2位 支笏湖(北海道)(360.1m) 3位 十和田湖(最深部は青森県)(326.8m)	➡
2	可住地面積1km ² 当たり 人口密度の低さ	R5	282.7人	287.6人 (2) 【R4】	総務省統計局「社会生活統計指標 —都道府県の指標—」 1位 北海道(224.4人) 3位 岩手(310.0人)	➡ 更新



©2015秋田県みどり子

〈番外編〉

秋田県の
1日あたりのデータ



秋田県の1日



※数値は、年間の発生件数等を1日あたりに単純平均したものです。

※()内は実施年次(1月から12月または、4月から翌3月)で、Rは令和をさします。
※算出用に用いた人口は、12が「一般廃棄物処理実態調査」、それ以外が「人口推計(総務省)」。

資料出所: 1~4 人口動態統計(厚生労働省)、5~6 住民基本台帳人口移動報告(総務省)、7 管内新車新規登録台数(国土交通省東北運輸局)、8 建築着工統計調査(国土交通省)、9~10 都道府県別販売実績(石油連盟)、11 電力調査統計(資源エネルギー庁)、12 一般廃棄物処理実態調査(環境省)、13 交通事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について(警察庁)、14 犯罪統計(警察庁)、15~16 消防白書(消防庁)、17 血液事業統計資料(日本赤十字社)、18 病院報告(厚生労働省)

あきたといえば

秋田犬

秋田犬は、「忠犬ハチ公」のエピソードで有名で、主人に忠実な家庭犬の品種として広く知られています。昭和6年国の天然記念物に指定され、日本犬種のうち唯一の大型犬種です。「忠犬ハチ公像」は、秋田県大館駅前や、東京都渋谷駅前等に設置されています。



写真提供「秋田県観光連盟」

比内鶏

比内鶏は、秋田県北部の「大館市比内地区」にて古くから飼育されており、昭和17年国の天然記念物に指定されています。比内鶏を品種改良した「比内地鶏」は、「さつま地鶏（鹿児島県）」、「名古屋コーチン（愛知県）」と並ぶ日本三大地鶏の一つとして有名です。



写真提供「大館市」

きりたんぽ（鍋）

きりたんぽは、すりつぶしたうるち米のご飯を木の棒に先端から巻き付けて焼いたたんぽ餅を棒から外し、食べやすく切った食品です。きりたんぽ鍋は、秋田県北部の郷土料理で、マタギの料理が起源だったとの説があり、鶏（比内地鶏）の出汁に、ごぼう、鶏肉、舞茸、ねぎ、たんぽ、セリなどを入れて煮込んだものです。



写真提供「秋田県観光連盟」

稻庭うどん

稻庭うどんは、湯沢市稻庭町が発祥の、手延べ製法による干しうどんで、江戸時代の藩主が他藩への贈答品としたり、紀行家の菅江真澄が著書に賛辞を記すなど古くから名品として知られています。麺は、白く透明感があり、ひやむぎより太く、平べったい独特の形状で、食感はなめらかで非常にのどごしがよく、日本三大うどんの一つとして有名です。



写真提供「秋田県観光連盟」

いぶりがっこ（漬物）

いぶりがっこは、秋田県内陸南部が発祥で、水分を抜くため、大根などをいぶし、燻製にした上で、主に米糠と食塩で漬け込んだ漬物です。豪雪地帯のため大根を充分戸外に干すことができず、室内に吊し、囲炉裏でいぶして干すようになったことから誕生しました。



写真提供「秋田県観光連盟」

あきたこまち（米）

あきたこまちは、1984年に誕生した秋田を代表するお米です。湯沢市の小野小町誕生伝説にちなんで命名されました。ツヤツヤと輝く透明感があり、香りに優れ、食味ランキンでは幾度となく特Aランクに選定されています。冷めても美味しいので、お弁当・おにぎりにおすすめです。



写真提供「全農秋田県本部」

秋田竿燈まつり

秋田竿燈まつりは、毎年8月3～6日にかけて行われ、真夏の病魔や邪気を払うねぶり流し行事が原型とされています。竿灯全体を稻穂、連なる提灯を米俵に見立て、手のひら・腰・肩にのせ、技を繰り広げます。東北三大祭に数えられており、日本三大提灯祭としても有名です。



写真提供「秋田県観光連盟」

秋田蕗

秋田蕗は、茎が約1～2m、葉の直径が約1.5mで大きさは日本一です。民謡「秋田音頭」で「雨が降っても唐傘などいらぬ」と歌われており、江戸時代に傘代わりにもなるこの蕗の存在が国中に知られ、葛飾北斎の「北斎漫画」にも「出羽秋田の蕗」として描かれています。



写真提供「秋田県観光連盟」

食べたい

項目	内容	備考
北限の茶	販売を目的とする日本茶の生産地としては国内最北	約280年ほど前から「檜山茶」として栽培（能代市）
北限のとらふぐ	トラフグの産卵地としては国内最北	「北限の天然ふぐ」としてブランド化 秋田県沿岸域（男鹿・天王を含む秋田沖）
かづの北限の桃	市場出荷する時期が全国で最も遅い産地という意味合いのブランド名で、主力品種は川中島白桃	福島県、山梨県といった桃の主要産地より2週間程度後に収穫・出荷される（鹿角市）
北限のいちじく	営利栽培として一定量が穫れる国内最北 主力品種は、甘露煮に適したブルンスウィック	昭和40年代から商品として開発・販売 「大竹いちじく」として、G I（地理的表示保護制度）に登録（にかほ市）
じゅんさい	淡水の池に自生する水草 ゼリー状の粘膜に覆われた若芽を食用とする	清らかな水でしか生息できず、ポリフェノールや食物繊維が豊富でカロリーが低いヘルシー食材（三種町）
とんぶり	ホウキギの成熟果実を加熱加工したもの 形状や食感から「畑のキャビア」と呼ばれる	「大館とんぶり」は、秋田県で初めてG I（地理的表示保護制度）に登録（大館市） 「大館のとんぶり製造技術」は、国の登録無形民俗文化財に登録
西明寺栗	大きいものは重さが60g以上になる日本最大級の栗	実がふくらっていて美味しい、渋皮煮、和菓子、栗焼酎などに利用（仙北市）
横手やきそば	もちもちの太い茹で麺を使い、半熟の目玉焼きと福神漬けを添えるのが定番の焼きそばで、全国的に有名な「ご当地グルメ」として広く知られている。	平成21年9月、ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」で ゴールドグランプリ獲得 令和5年3月、文化庁「100年フード」に認定（横手市）

観たい

中仙ジャンボうさぎ	白い毛並みと大きな体が特徴 大きいものは体重10kg以上に成長	日本白色種秋田改良種（大仙市） ジャンボうさぎ料理は、長く地域に愛されてきた食文化に与えられる「100年フード」（文化庁）に認定された（令和4年3月）
川原毛大湯滝	高さ20m（日本最大級の温泉滝）	源泉9.6度の強酸性温泉が沢水に混入し、適度な温泉となつて断崖を一気に流れ下り、2つの滝壺が露天風呂となつていて（湯沢市）
一ノ目潟、二ノ目潟、三ノ目潟 (爆裂火口湖 (マール))	直径600m、水深44.6m（一ノ目潟） 直径400m、水深11.8m（二ノ目潟） 直径400m、水深31.0m（三ノ目潟）	爆裂火口湖は日本列島全体でも珍しく、東北では唯一（男鹿市） 一ノ目潟は平成19年国の天然記念物に指定 三ノ目潟は平成22年県の天然記念物に指定
ニプロハチ公ドーム (大館樹海ドーム)	長径178m（世界最長の木造建築）	高さや面積で東大寺大仏殿を上回る国内最大の木造建築物（大館市）
康楽館	明治43年に建築され、和洋折衷のモダンな造りが特徴的で、移築や復元を行わず、現在も常設で公演を行っている日本最古の木造芝居小屋	平成14年国の重要文化財に指定（小坂町）
秋田大学大学院国際資源学研究科 附属鉱業博物館	日本で唯一の鉱業博物館	鉱山学部設立50周年記念事業として昭和36年に建設（秋田市）
横手市増田まんが美術館	平成7年に「マンガ原画」をテーマとした全国初の美術館としてオープン。令和元年5月に「マンガ原画の保存と展示」に特化したマンガ専用施設として大規模リニューアル。マンガ原画の収蔵数は日本一を誇る。	令和2年8月には「増田まんが美術館を中核とした地域資源活用地域計画」が文化観光推進法に基づく初の大蔵認定を受けた（横手市）
北鹿ハリストス正教会聖堂 (曲田福音会堂)	明治25年建築（日本最古の木造ビザンチン様式の教会堂）	昭和41年県の有形文化財に指定（大館市）
ジオパーク	地球科学的な価値を持つ遺産を保全し、教育やツーリズムを活用しながら、持続可能な開発を進めることを認定された公園等の地域	認定された地域数が北海道に次いで全国で2番目に多い4か所（男鹿半島・大潟、八峰白神、ゆざわ、鳥海山・飛島）
綴子太鼓	毎年7月14、15日に行われる綴子神社例大祭 使用される太鼓の最大は直径3.80m（日本一の大太鼓）にもなる	2番目に大きい、直径3.71mの太鼓は、牛の一枚皮を使った世界一の和太鼓として、ギネスブックに認定（北秋田市）
刈和野の大綱引き	毎年2月10日に、秋田県大仙市刈和野の上町（二日町）、下町（五日町）と町を二分し、周囲2.2mの大きさの綱を引き合う伝統行事	長さ雄綱約64m、雌綱約50m、重量各々約10t、綱の周囲約2m（日本一） 昭和59年国の重要無形民俗文化財に指定（大仙市）

日本三大○○

項目	内容	備考
川原毛地獄	日本三大霊地 恐山（青森県）、立山（富山県）	平成28年県の天然記念物に指定（湯沢市）
声良鶏	日本三大長鳴鶏 東天紅鶏（高知県、天然記念物）、蜀鶏（新潟県、天然記念物）	昭和12年国の天然記念物に指定（大館市、鹿角市）
天然秋田杉	日本三大美林 木曽ヒノキ（長野県）、青森ヒバ（青森県）	秋田県の北部を流れる米代川流域に分布しており、標準的樹齢は200～250年といわれている
しょつつる	日本三大魚醤 いかなご醤油（香川県）、いしる（石川県）	主にハタハタ等の原料魚と塩だけで1年以上熟成させて作る魚醤
大曲の花火 (全国花火競技大会)	日本三大花火大会 土浦全国花火競技大会（茨城県）、長岡まつり大花火大会（新潟県）	明治43年に始まった、全国選りすぐりの花火師だけが参加できる日本最高峰の花火の競技大会（大仙市）

世界遺産

白神山地	原生的な状態で残存するブナ林は、動植物相の多様性で世界的にも類い稀な森林	平成5年屋久島とともに、日本で最初の世界自然遺産に登録（藤里町、青森県）
大湯環状列石	2つの環状列石を中心とした遺跡で、中心を結んだ線の延長線上に夏至の日没点が重なるという説がある	令和3年北海道・北東北の縄文遺跡群の一つとして世界文化遺産に登録
伊勢堂岱遺跡	4つの環状列石を中心とした遺跡で、一つの遺跡に4つの環状列石があるのは国内最多	

ユネスコ無形文化遺産

大日堂舞楽	大日靈貴（オオヒルメムチ）神社で毎年正月2日に奉納される舞楽	平成21年ユネスコ無形文化遺産に登録（鹿角市）
角館のお祭り (角館祭りのやま行事)	角館地域（仙北市）の鎮守である神明社と成就院薬師堂の祭で毎年9月7日～9月9日に行われる	
土崎港曳山まつり (土崎神明社祭の曳山行事)	秋田市土崎地区で土崎神明社例祭として行われている祭典行事で、毎年7月20・21日に行われる	平成28年山・鉾・屋台行事（全国で33件）の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録
花輪ばやし (花輪祭の屋台行事)	鹿角市花輪地区の総鎮守、幸福荷神社の祭典で、毎年8月19・20日に行われる	
男鹿のナマハゲ	男鹿市に伝承される、大晦日に行われる行事	平成30年「来訪神：仮面・仮装の神々」行事（全国で10件）の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録
西馬音内の盆踊	羽後町西馬音内本町通りで毎年8月16日～8月18日に行われる、洗練された流麗優雅な盆踊り日本三大盆踊りの一つとして有名	令和4年「風流踊（ふりゅうおどり）」（全国で41件）の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録
毛馬内の盆踊	鹿角市毛馬内地区に伝承されている情緒豊かな盆踊りで、毎年8月21日～8月23日に行われる	



©2015秋田県んだッテ

なるほど

項目	内 容	備 考
秋田弁 「け」、「く」、「(ん)め」	日本一短い会話（方言）で、「食べてください」「いただきます」「おいしい」の意味	「け」には他に、「おいで」や「かゆい」などの意味もある
秋田弁 「ね」「ねね」「ねねね」	一語で意味が伝わる方言 「ね」は「無い」 「ねね」は「無いね」 「ねねね」は「寝ないといけない」	「ねねね～のに、ねれねね～」はもはや他県の方には意味不明
玉川温泉	湧出量9,000L/分（一か所からの湧出量としては日本最大級）	強酸性泉でラジウム温泉の一種（仙北市）
ニホンザリガニの南限生息地	大館市の生息地が日本の南限	大館市の「生息地」が昭和9年に国の天然記念物に指定 成体で5～7cm（大館市）
大潟村	かつて日本で2番目の面積を誇る湖沼だった八郎潟を干拓して作った日本最大の干拓地	総面積17,011ha
洋上風力発電	国内初となる大規模な商用の洋上風力発電設備が、能代港と秋田港で運用開始	運用開始時期 能代港（令和4年12月） 秋田港（令和5年1月）
高等学校バスケットボール	秋田県立能代工業高等学校（令和3年4月に秋田県立能代西高等学校と統合し、秋田県立能代科学技術高等学校として開校） 全国大会優勝58回（全国最多）、三冠王（選抜、インターハイ、国体）9回、インターハイ7連覇（昭和54～60年）、6連覇（平成5～10年）	
高等学校ラグビー	秋田県立秋田工業高等学校 全国高校ラグビー大会出場73回（令和7年度）及び優勝15回は全国最多	
オリンピックの個人獲得メダル数	小野喬（能代市出身の体操選手）が、日本人として最多の13個（金5、銀4、銅4）のメダルを獲得 1952年から64年のヘルシンキ、メルボルン、ローマ、東京の4大会で活躍 東京では清子夫人も銅メダルを獲得	
日本のロケット発祥の地	由利本荘市道川海岸1955年8月ベンシル形ロケット発射実験 (日本ロケット発祥記念之碑が建っている)	
日本のアスファルト発祥（製品化）の地	豊川村（潟上市昭和）で産出された土遜青（天然アスファルト）が、明治11年に日本で初めて「アスファルト」として東京の神田昌平橋の舗装に用いられた	
シェールオイル	シェール層と呼ばれる地中深くの岩盤に含まれる新型の原油 鮎川油ガス田（由利本荘市）において、平成24年10月、国内初の採取に成功 平成26年4月、商業生産開始	
秋田県種苗交換会	明治11年から続く歴史ある農業の祭典 令和7年まで148回開催	
戦後最初の邦画の監督出身地と撮影地	戦後最初の邦画は、昭和20年10月公開の「そよかぜ」 監督は佐々木康（横手市（旧雄物川町）出身）、ロケ地も横手市（旧増田町） 挿入歌の「リングの唄」はあまりにも有名	
生じいたけの京浜地区中央卸売市場(※)への年間出荷量、販売額、販売単価	出荷量： 2,366t (全国1位) 販売額： 2,952百万円 (全国1位) 販売単価： 1,248円/kg (全国1位)	県園芸振興課調べ(令和6年) ※京浜地区中央卸売市場：東京都、横浜市、川崎市の中央卸売市場の合計
乾うどん・そばの1世帯年間購入金額	秋田市 4,022円 (全国1位)	総務省統計局「家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング（令和4年～令和6年平均）」
さんまの1世帯年間購入金額	秋田市 757円 (全国1位)	
ほうれんそうの1世帯年間購入金額	秋田市 3,131円 (全国1位)	
ほうれんそうの1世帯年間購入数量	秋田市 4,047g (全国1位)	
生じいたけの1世帯年間購入金額	秋田市 2,446円 (全国1位)	
生じいたけの1世帯年間購入数量	秋田市 2,248g (全国1位)	
みその1世帯年間購入金額	秋田市 2,959円 (全国1位)	
清酒の1世帯年間購入金額	秋田市 9,308円 (全国1位)	



©2015秋田県んだッテ



「美の国あきたネット」に掲載しています。
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/5099>